

3月5日(木)春の訪れを感じる暖かさのなか、令和7年度加賀看護学校卒業式が行われました。以下に、式辞、送辞、答辞の抜粋を掲載します。

学校長式辞

本日本校を卒業される皆さん、誠におめでとうございます。今日まで皆さんを支えてこられたご家族の皆様にもお慶びを申し上げます。

今年のミラノコルチナオリンピックで感動したのは「りくりゅうペア」の金メダルでした。2人は、実力不足から個人選手よりもペアに転向するよう言われたり、結成当初は日本代表から足手まといと思われたりと、散々でした。しかし彼らはめげませんでした。自分達を信じ、努力した。前日のショートプログラムが5位で誰もが負けと思ったところを、フリーで巻き返し金メダルを獲得しました。私は彼らの強さはどこにあるのだろうと考えていました。それは自らの能力を信じ、努力を積み重ねた強さにあると確信しました。皆さんは本日卒業し、社会に旅立ちます。もしかすると第一希望の就職先でなかったかもしれない。就職してみたら思い描いていた仕事ではなかったかもしれない。けれど、置かれた場所で自分を信じ、努力してほしいと思います。

皆さんに、ちゃんみなオーディションプロジェクト「No, No, Girls」の言葉を送ります。プロジェクトには、モットーとして3つのNoがありました。「No FAKE (にせものはダメだ)」これは職業人として本物になれということ、「No LAZE (なまけものになるな)」誰よりも一生懸命であれ、そして「No HATE (自分を軽蔑するな)」自分を信じろ、ということです。ちゃんみなも「やってきたこと、乗り越えたことを、讃えてほしい」と強いメッセージを出していました。



皆さんは看護師になると決めた日から今日まで、一生懸命頑張ってきた。毎日の小さな努力の積み重ねがどれほどあったか、我々教官も保護者の方々もよく知っています。看護師として人々に奉仕すると決めたあなた達は社会の希望です。

卒業生の皆さん、社会からの大きな期待を背負っての、あなたたちの新しいステージの始まりです。皆さんのご健闘を祈念しております。

在校生送辞

厳しい寒さも次第に和らぎ、暖かい春の訪れを感じられる季節となりました。本日加賀看護学校を卒業される3年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

先輩方との最初の出会いは春の交流会でした。勉強や生活への不安を抱えていた私たちに、先輩方は優しくアドバイスをくださいました。その一つひとつの言葉が学生生活をイメージすることに繋がり、抱えていた不安が和らいでいきました。秋の交流会では、看護技術の合同練習をしました。臨地実習での様々な場面を想定しながら丁寧に教えてくださったことで、その後の実習にも落ち着いて臨むことが出来ました。学校祭では共に準備を行い、笑顔で楽しんだ時間は大切な思い出となりました。

先輩方は、多くの実習や国家試験への挑戦など、決して平坦ではない道りをたゆまぬ努力で切り拓いてこられました。患者さんと真摯に向き合い、悩み、考え、努力を重ねてこられたその姿は、私たちにとって大きな目標であり憧れです。困難な状況の中でも前向きに学び続ける先輩方の姿から、看護師としての責任や覚悟、そして人に寄り添うことへの大切さを学ばせていただきました。これから先輩方はそれぞれの現場で看護師として新たな一歩を踏み出されます。医療の現場では、喜びだけでなく、迷いや葛藤を感じることもあるかもしれません。しかし、これまで積み重ねてこられた努力や経験、そして共に学び支え合ってきた仲間との絆はどのような時も皆さんの力となり、支えとなることと思います。その絆を思い出し、今後自信を持って歩いていかれることを在校生一同願っております。

最後に、これまで良き先輩として私たちを導き、支え、励ましてくださったことに心から感謝し、皆様の今後のご活躍とご多幸を願ひまして、送辞とさせていただきます。

卒業生答辞

厳しい寒さの中にも、少しずつ春の気配が感じられる季節となりました。このよき日に、私たち 30 名は卒業の日を迎えることができました。

この3年間の学校生活を振り返ると、講義や演習、実習など慣れないことの連続でした。慣れない環境の中で戸惑うことも多くありましたが、仲間と支え合いながら一步步成長してきました。その中で、看護の知識や技術だけでなく、人と向き合う姿勢の大切さを学んできたように思います。このような学びを積み重ねることができたのは、日々支えてくれる家族や友人の存在があったからだと思っています。実習や試験が続き、思うようにいかず不安に押しつぶされそうになった日、帰宅すると何も言わず温かく迎えてくれた家族の存在や、「大丈夫、頑張ってるよ」と声をかけてくれた友人の言葉に、何度も救われました。今日この日を迎えられたのは、決して自分一人の力ではありません。支えてくれたすべての方々に、心から感謝しています。



在校生の皆さんもこれから勉強や実習に追われ、心が折れそうになることがあると思います。しかし、仲間と支え合いながら過ごす日々は、必ず皆さんの力になります。どうか自分を信じ、目の前の一步を大切に積み重ねていってください。皆さんのこれからの学校生活が実り多いものとなることを、心より願っています。

これから私たちは、それぞれの場所で看護師としての一步を踏み出します。医療を取り巻く環境が変化し続ける中で、迷い、悩むこともあると思います。それでも、ここで学んだ知識と技術、そして「人に寄り添う心」を忘れず、患者さん一人ひとりに誠実に向き合い続けていきます。

最後になりましたが、御臨席を賜りました皆様のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、加賀看護学校がこれからも素晴らしい学校であり続けますよう祈念し、答辞とさせていただきます。



3年生のみなさん
ご卒業おめでとうございます